



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所：新潟市鳥屋野総合体育館
 試合区分：成年女子 1回戦
 開催期日：2009年10月2日（金）
 開始時間：11:45

GAME No. 1002E2

主審：有澤 重行
 副審：小柳 敦

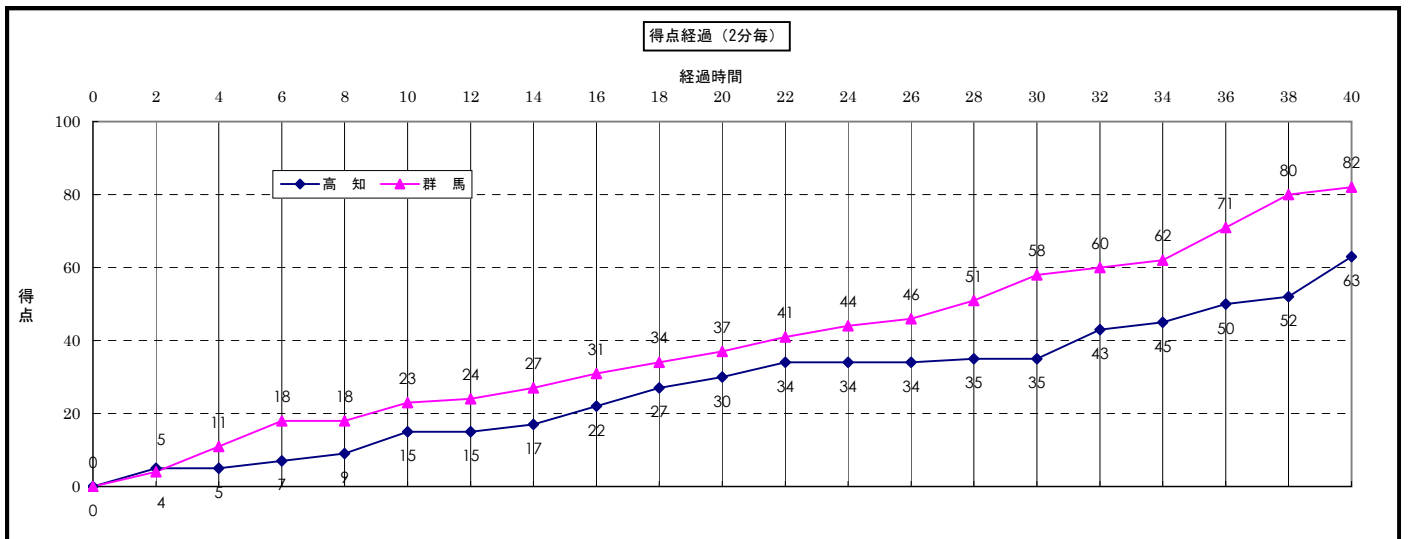
Team A 高知	●	15 -1st- 23 15 -2nd- 14 5 -3rd- 21 28 -4th- 24	○	Team B 群馬
	63		82	

TEAM A		高知					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		田村 美紀	5	0	2	1	5
5		西川 絵美	6	2	0	0	1
6	*	吉川 奈歩	0	0	0	0	0
7	*	大久保 亜希	6	0	2	2	0
8		福井 教子	0	0	0	0	0
9		沼 桂子	0	0	0	0	0
10	*	池内 保子	15	1	5	2	4
11		清家 結	0	0	0	0	0
12	*	伊藤 恵梨	8	0	4	0	4
13	*	平岡 裕美	6	2	0	0	0
14		黒瀬 紗弓	17	2	4	3	3
15							
Coach		明神 友恵					0
TOTAL			63	7	17	8	17

TEAM B		群馬					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		石川 真友美	0	0	0	0	1
5		長濱 梓美	4	0	1	2	0
6		橋本 奈菜子	0	0	0	0	0
7	*	金谷 春恵	10	2	2	0	1
8		飯塚 めぐみ	13	0	6	1	0
9		神戸 呂味子	8	0	3	2	1
10	*	藤生 喜代美	12	0	6	0	0
11		岩崎 睦	2	0	1	0	0
12	*	岡本 桂子	2	0	1	0	3
13	*	松浦 可奈	10	0	4	2	3
14	*	尾花 美恵	21	4	4	1	0
15							
Coach		窪田 智弘					0
TOTAL			82	6	28	8	9

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	4:59	14:03	23:03	36:28		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	16:45	38:52	-		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。試合開始3分は両チームともに得点を取り合ったが、先手を取ったのは群馬。#14尾花のインサイドシュートと3Pシュートの連続得点で試合の主導権を握る。高知は群馬の堅い守りを破ることができず、残り1分高知は#14黒瀬と#10池内のスティールからの得点をするが、15-23とされ、8点差をつけて群馬がリードする。

2Q、高知はドライブでインサイドのシュートを試みるが得点に結びつかない。反対に群馬の#14尾花の3Pシュートと#9神戸の速攻で12点差がつく。高知はすかさずタイムアウトを取る。直後に群馬はハーフコートのゾーンディフェンスに変えるが、高知はすかさず対応。アウトサイドのプレイヤーにボールを集め、#13平岡の3Pシュートなどで点数を7点差まで縮める。群馬はマンツーマンディフェンスに戻し、群馬#7金谷が得点するが、代わって出た高知#5西川の連続3Pシュートで7点差の30-37で群馬がリードを保ち前半終了。

3Q、開始早々高知はスクリーンプレイで#7大久保が得点。3点差まで詰め寄り、巻き返しを図ろうとしたが、群馬#10藤生と#13松浦の連続得点で10点差をつけられ、高知は流れを変えようとタイムアウトを請求。しかし、その後も高知は群馬のディフェンスを崩すことができず、終盤は群馬#9神戸の連続得点で一気に23点差をつけられる。群馬は高知を5点に抑えて、35-58とした。

4Q、高知は#14黒瀬の連続3Pシュートなどで応戦するが、群馬のオールコートプレスディフェンスにボール運びに苦しむ。残り3分より高知はオールコートプレスディフェンスに変え#10池内、#12伊藤がスティールから得点を決めるが、群馬の勢いを止められず、群馬が63-82で快勝した。

記載責任者	伊藤 好則	(所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	-------	------	---------------